

■ 不断のチェック——安全・安心輸送のために

地下鉄・バスの ニュートラム “保安”



深夜の地下鉄トンネル内で、鉄筋コンクリートの構造物に重大な損傷が無いが、職員の目によるチェックが行われています。最終電車が走り終えたあと、始発電車が走り始めるまでの間に行われている、お客さまの目に触れない作業です。駅間のトンネル内は駅の外壁のように外見を飾ることはありませんが、亀裂などを補修し、常に健全な状態が保たれています。

大阪交通ニュース

ふれあいステーション
2016年2月26日
NO.79

発行／大阪交通労働組合

代表者／中山久雄

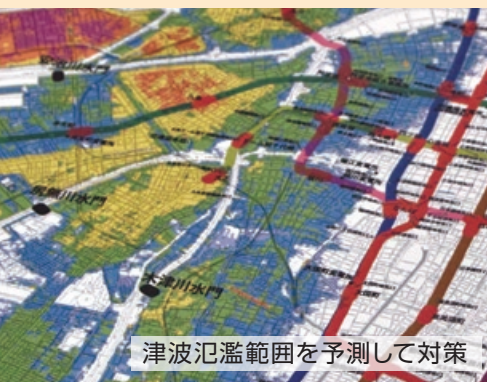
住所／〒550-0024 大阪市西区境川1-1-54

☎ (06) 6581-2291 FAX (06) 6581-9307

企画・編集／公営交通研究所 ☎ (06) 6584-1001



大地震の被害予測をもとに対策を検討



津波氾濫範囲を予測して対策



駅構内への津波浸水を防ぐ止水扉



人の目でレールの継ぎ目を点検



内部の見えるくずもの入れに改修中

安全・安心な地下鉄・ニュートラム・バスをご利用いただくために、駅やバス停、車両やトンネル内に異常がないか、職員が常に点検を行っています。また、大地震による津波浸水への対策など、駅構内の施設の改良も続けられています。今回は、新しいステージに向かう公共交通機関として、地味ながら欠かすことのできない「保安」に携わる職員の姿をご紹介します。

チームワークで不断のチェック 地下鉄・バスの保安を支える現場力



⇧ 2人1組の担当職員がパトロールカーで出発
バス運転手などからの連絡に対応します



時刻表をはじめ掲出物の点検を行います ⇨

列車の折り返し時に行う車内点検
⇩ 忘れ物や不審物がないか確認します



⇩ 営業路線のバス車両で生じた不具合にも対応



年末恒例 市バスをピカピカに

大阪交通労働組合に所属する市バス運転手が、年末恒例の市バス清掃ボランティア活動を行いました。新しい年を迎えるにあたってお客さまに気持ち良く市バスに乗りさせていただこうとの気持ちを込めて、普段の清掃に加えて特に念入りにバスをピカピカに仕上げました。市バス運転手はこのほかにも、勤務時間外のボランティア活動として市バス停留所周辺の清掃活動を行っています。今後どうぞ安全・安心・快適な市バスをご利用ください。



△手洗いでピカピカに



△3つの市バス営業所のバスをきれいにしました

社会貢献活動も 交通局「クリーンUP作戦」

交通局は12月25日、「平成27年歳末交通局一斉清掃～クリーンUP作戦～」として、地下鉄の駅や市バスの営業所、また交通局庁舎や市内各所の現場事業所の周辺の171ヵ所において計972人の職員がごみ拾い等の清掃活動を行いました。



△清掃する交通局の管理職と労働組合の役員

ちょっと一駅

Q: 四つ橋線大国町駅3番のりば、列車の先頭付近のホームから見える写真の信号機。赤丸の中に矢印が点灯しています。この矢印は運転士に何を伝えているでしょうか。

答えは3面に



▶ 2011年3月

11日の東北地方太平洋沖地震が引き起こ

した東日本大震災から、

間もなく5年が経ちます。交

通局は2月13・14日の両日、

被災した東北3県（福島、宮城、岩

手）などの協力を得て、なんばウォーク内で復興応援展を開催しました。被災された皆さまに

心を寄せ復興を応援するとともに、大阪においても防災意識を新たに、南海トラフ沖地震など

予想される自然災害への備えを進めなければなりません。津波等での浸水が予想される地下鉄

においては、浸水を食い止める止水扉の設置などが進められています。▶街は今、海外からの

観光客の増加で活気づいています。地下鉄・ニュートラム・バスのお客さまにも海外からの方

が多く見られるようになっていきます。日常の通勤通学や仕事や買い物などでご乗車される市民

の皆さまにとともに、安心して安全な地下鉄・ニュートラム・バスをご利用いただきたいとの

気持ちを込めて、職員は日々、さまざまなところで異常がないか確認・点検の目を光らせています。▶今回は地下鉄・ニュートラム・バスの

“保安”に携わる職員の姿を特集しました。これからはより安全・安心、そして快適な地下鉄・ニュートラム・バスをめざしていきます。